

AI加工の時代でも、原点は“良い素材”に。撮影から加工まで。

AIによる画像加工や生成技術は、今や驚くほどの表現力とスピードを持つようになりました。色調補正や構図の調整、不要物の除去など、かつては手作業に頼っていた工程も、AIが瞬時に行うことができます。

しかし、どんなに優れたAIを使っても、仕上がりを決めるのは「元となる画像の質」です。

光の入り方、被写体の角度、構図のバランス——

現場で丁寧に撮影された一枚には、AIでは作り出せない情報と深みが宿っています。

AIの力を最大限に引き出すためには、人の目と感性で“良い素材”を生み出すことが何より大切。

私たちはその原点を忘れず、テクノロジーと人の技を融合させながら、確かな品質を追求しています。



AIによる画像の加工



電柱の削除と
上空からのアングルに変更



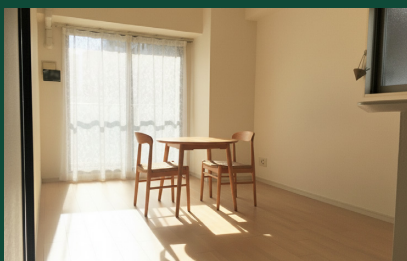
家具の配置
照明の設置と
観葉植物・テーブルセット



レース付きカーテンと絵画
ダイニングセット
観葉植物



雑草の除去



レースのカーテン
テーブルセット

AI技術の発展と、だからこそ求められる人の手仕事。

AI 技術の進化により、私たちの仕事や生活はこれまでにないスピードで効率化しています。

大量のデータ分析や画像編集、文章作成といった作業は、AI が瞬時にこなす時代になりました。

その結果、時間やコストを大きく削減し、より多くの情報を短時間で扱えるようになっていきます。

しかし同時に、人の感性や経験、そして「心を動かす力」は、どんなに進化した AI でも再現できません。

お客様の表情や空気感を感じ取りながら提案を組み立てること、現場でしか分からない微妙な感触を判断すること——こうしたアナログな感覚こそが、本当の価値を生み出す要素になっています。

AI が効率を高め、人の手が温かみと信頼を築く。

これからの時代は、

「AI × アナログ」の両立こそが、最も強い力を発揮するのです。

DIGITAL からアナログまで



印刷

カタログをネットで公開
データをお持ちなら
ホームページへの掲載は
驚くほど簡単で、低コスト
高パフォーマンスです

データ製作

Sample を見る



電子 BOOK

ホームページへ掲載

問合せが増える

Property Inquiry Board



お客様は、現地を
見えています！

QR コードを使ったガイドパネルは
問合せやホームページへのアクセスが
確実に増えています

『AI』で不動産情報を探す時代の

『AI』に好まれるデータづくり



撮影と適正な補正の重要性を理解しましょう

掲載画像からもデータを取得する AI



🔍 AI が画像から読み取れる主な不動産情報

① 建物・間取り・外観に関する情報

項目 AI が検出できる内容

建物種別 戸建・マンション・アパートなどの判別

階数・構造 木造・鉄筋コンクリート・軽量鉄骨などの推定

間取りの特徴 LDK の広さ、部屋数、キッチンや浴室の位置関係

築年数の目安 外壁や設備の劣化具合、素材の古さなどから推定

外観スタイル 和風・モダン・洋風などデザイン傾向の分類

② 室内・設備の状態

項目 内容

内装の状態 床・壁・天井の汚れや傷み具合を自動評価

日当たり 窓の位置や光量から「南向き／日当たり良好」などを推定

設備の有無 システムキッチン・浴室乾燥機・エアコンなどを画像認識で特定

リフォームの有無 新旧素材の差異やデザインからリフォーム済かを判断

③ 立地・環境に関する情報

項目 内容

周辺環境 近隣にある建物（公園・学校・商業施設など）を自動検出

道路幅・駐車スペース 外観写真や航空写真から判別

眺望・景観 窓から見える景色の種類（海・山・街並みなど）を分類

④ データ化・自動活用の例

不動産ポータル：AI が画像を分類して「おすすめ写真」や「代表画像」を自動選択

査定システム：画像情報から「築年数・状態」を補完して価格を自動推定

生成 AI 広告：画像をもとに「日当たり良好・新築同様」などのキャッチコピーを自動作成

💡 技術的には

AI は「画像認識（Computer Vision）」の技術を使います。

代表的な技術例は：

CNN（畳み込みニューラルネットワーク） による物体検出

セマンティックセグメンテーションによる空間構造の解析

マルチモーダル AI（画像＋テキスト）による説明文生成